

## 2025 年度民間航空機部門の受注数、納入数



受注残は過去最高を更新

エアバスは 2025 年度に民間航空機を 91 社へ 793 機納入しました。総受注数は 1,000 機を獲得。2025 年 12 月末時点で受注残は 8,754 機と過去最高を更新し、エアバス機に対する市場の強い需要を裏付けました。また、2025 年のブック・トゥ・ビル（受注対出荷比率）は 1 を上回り、堅調な水準を維持しました。

複雑かつ流動的なビジネス環境が続く中、2025 年の納入数は右肩上がりの推移を維持しました。

2025 年は数々の記念すべき納入が行われ、A220、A321XLR、A330neo、そして A350-1000 は世界中のあらゆる地域で新たな航空会社へ引き渡されました。さらに、単通路型機およびワイドボディ機の両キャンペーンにおいて、既存顧客からの受注に加え、主要な新規顧客からも受注を獲得しました。これにより、ワイドボディ機の受注残は 2025 年 12 月末時点で過去最高の 1,124 機に到達しました。

### 2023 年、2024 年、2025 年の納入内訳

	2025	2024	2023
A220 ファミリー	93	75	68
A320 ファミリー	607	602	571
A330 ファミリー	36	32	32
A350 ファミリー	57	57	64
合計	793	766	735

### contents

2025 年度民間航空機部門の  
受注数、納入数

エアキャップ、  
A320neo ファミリーを 100 機追加発注

タイガーエア台湾、  
A321neo を 4 機発注

エア・カナダ、  
A350-1000 を 8 機発注

アトラス・エア・ワールドワイド、  
A350F を 20 機発注

アジア太平洋地域の  
航空サービス市場予測

プレアデス・ネオ・ネクストを  
2028 年に打ち上げ

## エアキャップ、A320neo ファミリーを 100 機追加発注

エアキャップ・ホールディングスが A320neo を 23 機と A321neo を 77 機確定発注しました。今回の発注は、世界の航空会社における長期的な需要に応えるため、市場で最も支持されている燃費効率に優れた最新の機体へ投資するという、エアキャップの戦略を反映したものです。

A320 ファミリーは、これまでに 19,000 機を超える受注を獲得。市場から高い支持を得ている単通路型機です。その最大機種である A321neo は比類ない航続距離と性能を備えます。従来機と比較して、燃費および CO<sub>2</sub> 排出量を少なくとも 20%削減しているほか、単通路型で最も幅広い客室による快適な空の旅を提供します。



エアバス単通路型機を 100 機追加発注したエアキャップ

## タイガーエア台湾、A321neo を 4 機発注

タイガーエア台湾が A321neo を 4 機発注しました。タイガーエア台湾が A321neo を発注するのは

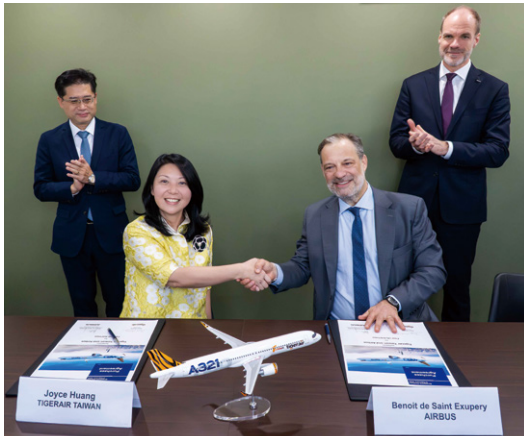
今回が初めてとなります。同機の導入により、タイガーエア台湾は路線ネットワークの拡大を推進し、従来機と比較して燃費効率の向上と排出ガスの削減を実現します。

タイガーエア台湾は現在、A320ファミリーを 17 機（A320ceo が 9 機、A320neo が 8 機）運航しており、A320 ファミリーの高い共通性によって、訓練、整備、運航コストの削減を図ります。

タイガーエア台湾の黄世恵董事長は次のように述べています。「A321neo の発注は、当社の『第 3 世代』機材拡大計画の要であり、リージョナル市場での競争力をさらに強化し、運航効率を最大化することを目指したものです。232 席仕様の A321neo を

導入することで、需要の高い『ゴールデンルート』の供給能力を強化し、ネットワーク拡大を加速させます。より多くの目的地へ、より多くのお客様を低コストで運ぶことで、台湾をリードする LCC としての地位をより強固なものにします。さらに、商業的目標と ESG 目標の両方の達成を実現する機材の若返りと低燃費化を推し進めることができます」

また、エアバスのブノワ・ド・サン＝テグジュベリ民間航空機事業営業担当上席副社長は次のように述べています。「タイガーエア台湾が機材拡充の新たなステップとして、エアバスへの信頼を示してくださったことを大変嬉しく思います。A321neo の導入によって既存の A320 機材を補完します。A321neo は、コスト効率の高い運航を維持しつつ、増大する需要を取り込むための理想的な航空機となります」



A321neo を初発注したタイガーエア台湾

## エア・カナダ、A350-1000 を 8 機発注

エア・カナダが A350-1000 を 8 機確定発注しました。これにより、同社の長距離路線フリートが更新されるとともに、エアバスのワイドボディ機に対する信頼がさらに明確になりました。

A350-1000 がもたらす経済性と運航コストの削減は、エア・カナダに大きな優位性を提供します。最大 9,000 海里という業界最高水準の航続距離を誇る最新のワイドボディ機は、カナダから成長著しいインドや東南アジア、オーストラリアへの直行便運航を可能にし、同社のグローバルな事業展開の中核を担うこととなります。

超長距離飛行での快適性を重視して設計された A350-1000 は、機内の快適性を向上させた「Airspace」を採用しており、定評あるエア・カ

ナダの機内サービスをさらに進化させた空の旅を提供します。与圧と騒音レベルはあらゆる客室の中



A350-1000 を 8 機発注したエア・カナダ

で最も低く抑えられており、長時間のフライトにおいても乗客のウェルビーイングを向上させます。

# アトラス・エア・ワールドワイド、 A350F を 20 機発注



A350F の最大顧客となったアトラス

米国ニューヨークを拠点とする航空貨物ロジスティクスのグローバルリーダーであるアトラス・エア・ワールドワイド・ホールディングスが、最新鋭貨物機 A350F を 20 機確定発注しました。燃費効率の優れた最新世代の貨物専用機である A350F に対する過

去最大の発注であり、アトラスは A350F の最大顧客となります。

A350F は、事業拡大のために導入されます。アトラスは世界を代表する航空貨物ロジスティクスの受託企業で、A350F の次世代性能を、多様なビジネスモデルや市場で展開する世界中のオペレーターに提供します。

メインデッキに大型の貨物ドアを備え、胴体の長さや容量は業界標準のパレットおよびコンテナ貨物輸送に最適化されています。機体の 70% 以上に最先端の材料を使用するため、競合機より離陸重量を 46 トン軽量化しています。さらに、A350F は 2027 年に施行される ICAO の CO<sub>2</sub> 排出基準にも対応する唯一の新世代貨物機です。

## アジア太平洋地域の航空サービス市場予測

エアバスは中国およびインドを含むアジア太平洋地域の最新のサービス市場予測 (GSF) を発表しました。それによると、同地域のサービス需要は 2044 年まで年平均成長率 (CAGR) 5.2% で拡大し、市場規模が 1,387 億米ドルに達する見込みです。

この持続的な成長を支えるのは、航空交通量の拡大と航空機数の増加です。今後 20 年間で、アジア太平洋地域では 19,560 機の新造旅客機が必要になる見通しで、これは世界全体の需要の 46% を占めます。また、同地域は旅客輸送量が年率 4.4% で増加すると予測されており、世界平均の 3.6% を大きく上回り、世界で最も急速に成長する旅客輸送市場であり続ける見通しです。

エアバスの GSF では、アジア太平洋地域の成長を牽引する主要な 5 つのサービス分野を挙げています。

- オフウィング整備 (2025 年：371 億米ドル → 2044 年：1,000 億米ドル) - 機体数の増加と経年化に伴い需要が急増しています。しかし、サプライチェーンの課題や労働力不足に起因する大きな制約に直面しています。
- オンウィング整備 (2025 年：60 億米ドル → 2044 年：140 億米ドル) - MRO (整備・修理・オーバーホール) インフラへの大規模な資本投資が行われています。インド、インドネシア、マレーシア、フィリピンなどの主要市場で新しい重整備用格納庫の建設が進み、アジア太平洋地域の整備能力が強化されています。
- 改修・アップグレード (2025 年：38 億米ドル → 2044 年：62 億

米ドル) - 航空会社は、経年機に対してより複雑な改修を実施しており、客室近代化への強い需要が生じています。これらの改修プログラムを通じて、変化する旅客の期待に応えるためのプレミアム客室製品や機内コネクティビティ (IFC) の導入が進められています。

- デジタル・コネクティビティ (2025 年：29 億米ドル → 2044 年：112 億米ドル) - 航空会社や整備事業者は、効率性向上のために AI やデータ分析の導入を加速させています。これらの技術は予測メンテナンスをサポートし、運用を最適化するほか、自動化を通じて労働力不足の緩和に寄与します。
- 訓練 (2025 年：32 億米ドル → 2044 年：77 億米ドル) - アジア太平洋地域では、CBTA (能力要件に基づく訓練・評価) への移行が急速に進んでいます。市場の成長を支えるために、2044 年までに新たに 106 万人以上の航空人材 (パイロット 28 万 2,000 人、技術者 30 万 2,000 人、客室乗務員 47 万 3,000 人) が必要となります。さらに、最新の GSF では、航空会社や整備事業

者の運営にとって重要性が増している以下の 2 つの分野にも焦点を当てています。

- メンテナンス・オペレーション・サポート - エンジニアリング・サービス、技術記録、在庫管理、機材全体の計画などを含み、航空会社と整備事業者の両方のビジネスにとって要となります。この分野におけるアジア太平洋地域の需要は、2044 年までに 464 億ドルに達すると予想されます。
- グランド・オペレーション - 制限エリアにおける運用効率と機体のターンアラウンド性能を緊く重要な役割を担うこの分野は、さらなる効率化向上のために自動化とデジタル化による再編が進んでいます。アジア太平洋地域の同分野の市場は、2044 年までに 310 億ドルに達する見通しです。航空業界全体の進化が続く中で、サービス需要の成長はますますアジア太平洋地域に集中しています。成熟市場が今後も一定の規模を維持し続ける一方で、南アジアと中国に牽引されるアジア太平洋地域が、世界中の供給量、技術的対応力、投資の優先事項を再形成し、サービス市場の次のステージを主導していくことになるでしょう。



2044 年までにサービス市場は 1,387 億米ドルに

# プレアデス・ネオ・ネクストの初号機を 2028年初頭に打ち上げへ

エアバスはプレアデス・ネオ・ネクスト (Pléiades Neo Next) 衛星の初号機を、2028年初頭にフランス領ギアナのクールーにある欧州宇宙基地から打ち上げることを発表しました。アヴィオ社 (Avio) のヴェガCロケットで打ち上げられる予定です。

プレアデス・ネオ・ネクストプログラムにより、エアバスは地球観測能力とサービスを強化し、地理空間技術におけるリードを維持します。プレアデス・ネオ・ネクストは、20cm級のネイティブ解像度などの新たな衛星技術と性能をもたらします。

プレアデス・ネオ・ネクストプログラムは、エアバス・ディフェンス・アンド・スペースが資金調達、製造、運用を行っています。その膨大な画像供給能力は、防衛・インテリジェンス、農業、環境、海事、災害対応、地図作成、位置情報サービス、

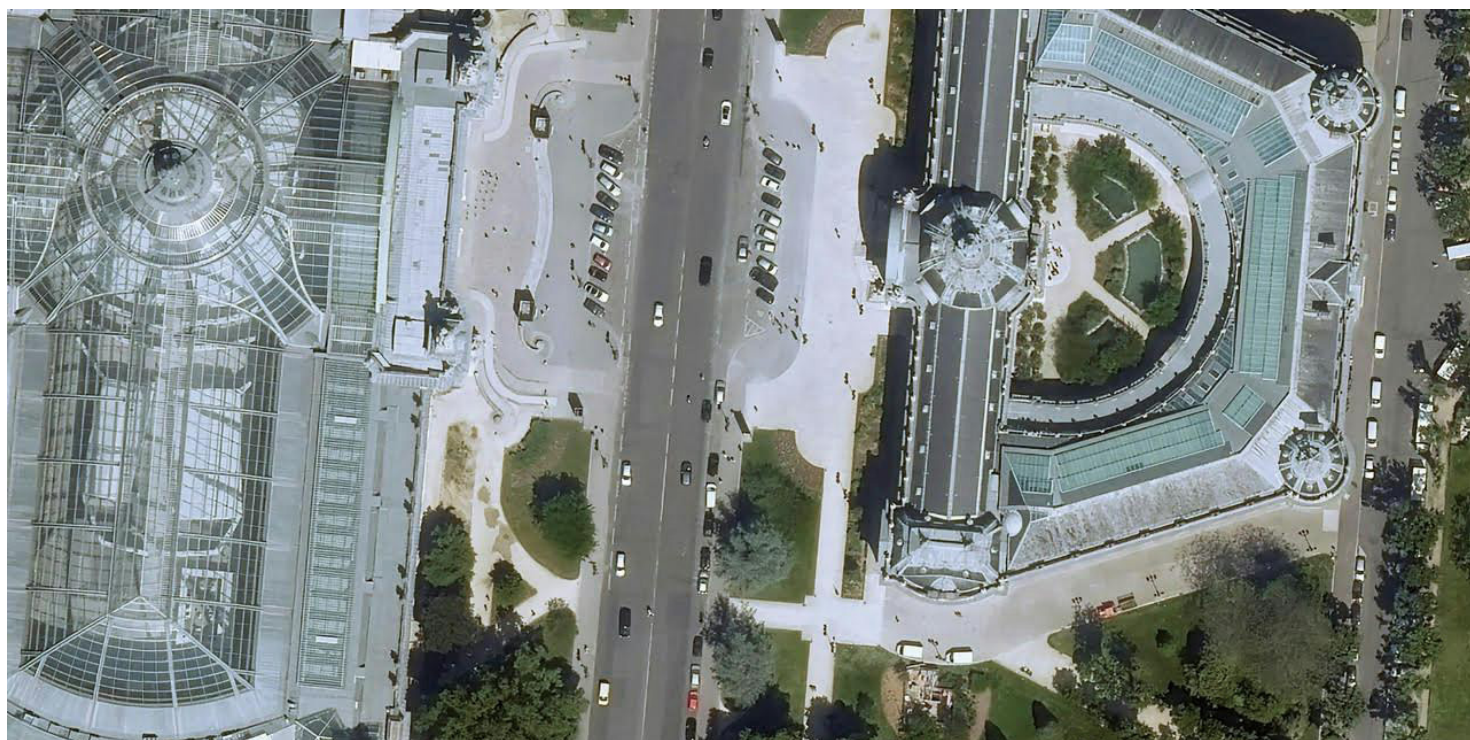
土木、都市計画、公共事業など、幅広い分野で利用することができます。

ユーザーは引き続き、衛星が対象エリアを通過する数十分前まで、エアバスの衛星に直接撮影指示を与えることができます。画像は撮影後速やかに、顧客の直接受信局 (DRS) やデジタルプラットフォーム「OneAtlas」を通じて受信でき、重要な任務への活用が可能になります。

プレアデス・ネオとプレアデス・ネオ・ネクスト衛星が連携することで、市場最高水準の空間解像度と位置精度を維持しつつ、地球上のあらゆる場所において1日複数回という高い再訪頻度を実現します。プレアデス・ネオ・ネクストの開発では、ネイティブ解像度の向上に加え、地上システムやDRS、OneAtlasプラットフォームもさらに強化しま

す。これにより、画像リクエストの処理能力を拡大するとともに、注文から撮影、データ受信までに要する時間を最短化します。

プレアデス・ネオ・ネクストにより、エアバスは地球観測能力とサービスを強化し、地理空間技術をリードします。エアバスの衛星製品は光学衛星とレーダー衛星の両方で構成されており、それぞれの強みを活かした柔軟なサービスを提供します。多様な解像度での観測はもちろん、悪天候時や夜間でも撮影可能なため、あらゆる状況下で最適な活用ソリューションを提供します。エアバスはまた、成層圏プラットフォームを活用した新しい技術の開発も進めています。



パリの衛星画像

## 2026年度3月末時点の受注・引き渡し・運航機数

機種	総受注機数	総引き渡し機数	運航機数
A220 / A318 / A319 / A320 / A321	20,930機	13,054機	12,005機
A300 / A310	816機	816機	239機
A330 / A340	2,347機	2,040機	1,629機
A350	1,564機	710機	709機
A380	251機	251機	205機
合計	25,908機	16,871機	14,787機